

戻って来た F1

一昨夕は、港の左から出て右に沈む見事な七色の虹が、オールドモンリオールの港の空を覆っていました。その少し上に、やや薄めの色の虹がもう一つ。二つの虹の架け橋がかかっていました。「何をお願いしようかしら。」娘とこんな話を虹を見るたびにすることを思い出します。モンリオールは空が大きく、虹もとても大きく、心の夢の懸け橋です。

その翌日は、港の向こうに見える島からビュンビュンと走るレーシングカーの音が聞こえてきました。かの F1 が戻ってきたのです。島のサーキットは、何万人ものファンの観客で埋まり、オールドモンリオールの港にも大きなスクリーンが設置され、同時中継で対岸のレースをみられるようになっていました。もちろん、家の中ではテレビをつければビュンビュン走るカーレースが見れます。モンリオールの F1 の開催はコロナでしばらく中止になっていましたので、半端でない騒ぎでした。義理の長男の元嫁の実家では、父親と兄二人が毎年見に行っていました。その年の F1 が終われば、その足で翌年の F1 の予約をすと言っていました。それほどファンには心待ちなようです。ドリトル先生は、車は好きでも、カーレースは対岸で走る音を聞く程度が心地よいようです。

猛暑だったり、豪雨だったり初夏の気候は激しく変わり、日々天気予報とにらめっこしております。そうした中、義理の次男の暮らしが大きく変わることになりました。42歳の若き大学教授は、難関を突破して、ケベックにあるラヴァル大学の教授に採用されました。審査員の一人の女性の大学教授の強い希望があったようです。応募者の中にはハーバード大学の教授もいたようですが、ケベックは仏語圏ですので、次男が英仏バイリンガル（仏語で教育され、ポストドックから大学教授職までは英語）というのも大

きな利点になったのかもしれませんが。それ以上に、写真映りの良いイケメンが功を奏したのかもしれませんが。イケメンはやはりどこに行っても得ですから。

応募し、試験を受けてからたった二ヶ月の間に引っ越しです。カナダの将来にかかる温暖化に耐える森林の研究と保護が大きな研究課題になるようですが、同時に大学の講義も大きな仕事になっていきます。現在の大学で担当している博士課程や修士課程の学生たち、研究所、実験中の森林などの処理に忙殺される一方、住んでいる家の売却、新しい家の購入、子供達の転校など、寝る間もないようです。子供達の教育や自分自身の研究の発展を考えると、大きな一歩になる信じられないほど幸運なチャンスと言えるかもしれませんが。反面、仕事や家族の責任の重さに押しつぶされそうなようです。元々、マイペースで、控えめで文句を言う人ではないのですが、一言

「良く眠れない」

とドリトル先生にこぼしていたようです。暮らしが落ち着き、研究もレールに乗り始めれば、この大学にある剣道部に入り、剣道も再開することでしょう。ここも、ドリトル先生の剣道の元々のテリトリーです。何だか、次男は釈迦の手のひらの孫悟空のように、ドリトル先生の手のひらから出られないようです。

孫娘（娘の娘）は楽天的なあっけらかんとした子で、ともかく良く遊びます。娘が住んでいるのは、若いフランス人の多い、近頃人気の、庶民的な一角です。一步出れば、餃子屋さん（ダンプリングと言ひ、どの街角にでもあるほどポピュラーなのです）や薬屋さん、コンビニ、喫茶店、タイ料理屋、パン屋等々と、すぐ何でも手に入ります。孫娘は、保育園仲間との絆も強く、保育園が終わっても、また近くの公園で遊んでいるようです。その保育園の資金集めのバザーに顔をだしてきました。孫の担当のシスターは82歳ですが、何とも元気な子供好きなシスターです。保育園の建物の一部で他のシスターたちの老後の面倒もみている、慈悲と愛に満ちた怖いけれども優しいシスターです。孫は、

「ボンジュール、ばあば。」とニコッと笑うと、友達と走り回っていました。普段は、入ることのない、保育園の庭で、皆が持ち寄ったり、シスターが出した雑貨が所狭しと並んでいました。売り子のお父さんやお母さん、シスターたちと、なんとなく育園の様子がわかります。シスターたちは、週末は、この保育園児達の食事の仕込みに追われ、休むということはほぼないようです。娘も、夕方まで売り子。集まった資金で、子供達の行事がいくつかできそうだと、シスターたちは喜んでいました。今は忘れられてしまったような、純粹さがどこかにあり、心がほっこりするバザーでした。

5月末にあった、いけばなの総会ランチでは久しぶりにいけばなの友人たちにあいました。どこか疲れて、自分の病気の心配やご主人の介護に追われる人が多くなり、終活とのボーダーラインにいるのだと改めて感じました。エネルギーッシュな孫たち、終活とのボーダーラインの私たち、この格差の中でこれからは暮らしていくことになりそうです。